

平成23年度事業計画について

当財団は、昨年10月に「公益認定申請書」を神奈川県に提出し、平成23年度中には、公益財団法人としての認定を受ける予定となっています。

日本丸メモリアルパークの指定管理者業務につきましては、引き続き平成23年度から27年度までの5年間、JTBと共同で指定管理者業務を実施していくことになりました。今年度は、第2期指定管理期間の初年度の年であり、よいスタートが切れるよう、新たな事業にも積極的にチャレンジし、指定管理者として横浜市との協約目標の実現に努めてまいります。

I 帆船日本丸事業

1 帆船日本丸保存事業

帆船日本丸を良好な状態で保存するために次の整備を行います。

(1) 日常保守点検

- ① 観覧者通路・公開区域の安全点検整備
- ② 船内及び甲板清掃、船内真鍮磨き
- ③ マスト・ヤードその他帆装ぎ装の点検整備
- ④ 船体外板清掃
- ⑤ 木甲板補修
- ⑥ その他

(2) 年次船体整備

「船舶安全法」に基づく検査にあわせて次の工事を実施します。

- ① 中間検査受検工事
- ② 木甲板一部更新
- ③ 清水タンク開放点検整備
- ④ 帆走ぎ装の整備
- ⑤ ポンプ類開放整備
- ⑥ 汚水処理装置開放整備
- ⑦ その他

(3) 災害防止

- ① 観覧者、総帆展帆協力者及び甲板清掃協力者の安全の確保
- ② 船内防災センターにおいて火災、浸水及び不法侵入者等に備えて24時間体制で集中監視を実施

(4) 今後の維持保存の取組み

昨年の「帆船日本丸保存活用検討委員会」により、可能な限り、現在の活用を続けながら、日本丸を建造から100年まで保存していくことを目指すなど方針が示されました。これらを受けて、横浜市と連携しながら20年間に必要な改修工事の項目を洗い出し、広く市民に日本丸を意識していただくための広報を行い、支援者からの寄付を募るなど対応した上で必要な工事を実施していくこととなります。平成25年度には定期検査を受ける年となり、その時期を大改修時期と捉え、現状の把握や工費の算定など様々な作業を経て安全かつ円滑な事業が行えるよう準備に取り組んでいきます。

2 帆船日本丸公開事業

船内を年間290日程度一般公開しています。日本丸乗船経験のあるガイドボランティアによる船内ガイドを毎日実施し、お客様に大変ご好評頂いております。このようにお客様のご意見を反映させることにより、サービスの向上に努めていきます。また、総帆展帆や満船飾を行うことで賑わいを創出していきます。

年間を通して広報活動に取り組み、帆船日本丸の魅力を多くの皆様にお伝えし、観覧者の誘致に努めます。

(1) 公開日等

公開日	次の日を除く毎日 ・月曜日 (祝日にあたる時は公開、翌日が休館日) ・年末 12月29日から12月31日まで ・1月末から2月下旬まで船体整備のため休館の予定
公開時間	午前10時～午後5時
観覧料	帆船日本丸・横浜みなと博物館共通 おとな(高校生以上) 600円(500円) こども(小・中学生) 300円(200円) *()内は20人以上の団体料金

(2) 総帆展帆

総帆展帆協力者の協力を得てセイルを張った美しい日本丸をより多くの市民に見ていただくとともに、市民参加型の小規模な展帆を月1回程度実施して日本丸メモリアルパーク内の賑わいを創出していきます。

総帆展帆実施予定日

4月10日(日)	4月29日(金)	5月15日(日)
5月29日(日)	6月12日(日)	6月26日(日)

7月18日(月) 8月 7日(日) 9月 4日(日)
9月25日(日) 10月23日(日) 11月 6日(日) 計12回予定

(3) 満船飾

祝日及び開港記念日には満船飾を実施し、華やかさをより演出します。

満船飾実施予定日

4月29日(金) 5月 3日(火) 5月 4日(水)
5月 5日(木) 6月 2日(木) 7月18日(月)
9月19日(月) 9月23日(金) 10月10日(月)
11月 3日(木) 11月23日(水) 12月23日(金)
1月 9日(月) 3月20日(火) 計14回予定

(4) 総帆展帆協力者の養成

平成23年3月現在、総帆展帆協力者として登録されている市民ボランティアは2, 252名にのぼります。毎回の総帆展帆に約100名の参加がありますが、今後も継続して事業を実施していくために、一般市民から協力者を募集し、養成します。

(5) 帆船日本丸船内ガイド

社団法人海洋会横浜支部及び社団法人全日本船舶職員協会横浜支部の協力を得て、帆船日本丸に乗船経験のある元船長・機関長を中心としたガイドボランティアによる船内ガイドを実施しています。

平成23年3月現在、ガイドボランティアとして協力いただいている方は38名で、平日は2名、土日祝日は3名体制で、希望するお客様に船内を案内し、公開事業のサービスの向上に努めます。

3 青少年錬成事業

帆船日本丸は、青少年が船上訓練などを行うことにより海、船、港に関する知識を学ぶ教育施設です。また、団体生活を行うことにより強い心と体を培う施設でもあります。

帆船日本丸及び訓練センターを活用して、青少年錬成のための海洋教室を開催し、海事思想の普及を図ります。

(1) 海洋教室の概要

① 目的

帆船日本丸での規則正しい団体生活を通じて青少年にたくましい体力と精神力そして協調性・友愛・責任感・注意力等を培い、海、船、港に関する理解と知識の増進を図ります。

② 対象

小学生以上（1日コース及び宿泊コースは4年生以上）

③ 内容等

種 類	内 容	募集予定数
半日・1日 コース	概要説明、船内見学、甲板清掃、操帆訓練、登檣訓練、結索訓練	600人
宿泊コース	概要説明、船内見学、甲板清掃、操帆訓練、登檣訓練、手旗訓練、避難訓練、船長講話、結索訓練、カッター訓練	800人

(2) 海洋教室の実施計画

平成23年度は、市内小学校の宿泊コースを積極的に受け入れるとともに、27年目を迎える「よこはまこどもマリンスクール」や24回目となる「横浜市工業会連合会新入社員合同研修会」など、継続して利用いただいている団体を引き続き受け入れます。

4 教育普及事業

帆船日本丸を活用して、その魅力と帆船の文化を知ってもらうため次の事業を行います。

(1) 総合学習の受入

総合学習の一環として体験学習や課外活動を積極的に受け入れます。

(2) 帆船日本丸清掃体験と船内見学

椰子の実を使って甲板を清掃する甲板みがきや、真鍮製品の手入れをする真鍮みがき等を体験してもらうとともに、職員の案内で船内見学を行います。

5 その他

(社) 横浜港振興協会主催の横浜港カッターレースに協力し、カッターの貸し出し等設備の提供のほか、参加者の安全確保や競技の進行を補助する目的で職員を派遣します。

また、同時に開催される小学生カッターレースにあたっては、事前にカッターとう漕(オールを使って漕ぐこと)の初期導入指導を行うとともに、海事知識の習得を併せて実施し、海事思想の普及に努めます。

II 横浜みなと博物館事業

1 常設展示事業

こどもから大人、ファミリーまでが興味と関心をもって楽しんでいただけるプログラムを用意し、何度でも来ていただける博物館づくりに努め、リピーターと新しい入館者の増加を図ります。

高校生以下無料の土曜日には、子ども向け、日曜日には、ファミリー向けの体験型事業に取り組み、入館者の拡大とリピーターの確保に努めます。

小学生向けには、見学の手引きとなり学習にも役立つワークシートの拡充と活用を図り、学校教育における利用を促進します。

また、展示を良好な状態に保ち、常に魅力あるものにしておくため、メンテナンスと情報の更新を行います。

総合案内所では、当施設の案内及び誘導に加え、周辺観光施設の紹介などのサービスの充実を図ります。

(1) 公開日等

公開日	次の日を除く毎日 毎週 月曜日（祝日にあたる時は公開し、翌日が休館日） 年 末 12月29日～12月31日 燻蒸期間 1月30日～ 2月 3日
公開時間	帆船日本丸に同じ
観覧料	帆船日本丸と共通券 帆船日本丸が船体整備中は横浜みなと博物館単独券を発行 企画展等、展覧会の期間中は展覧会単独券を発行

(2) 展示案内

①市民による展示案内ボランティアは次第に定着し、来館者から喜んでいただいています。22年度の16名を加え、現在32名に協力していただいて、毎日複数名の体制で、入館者へのフレンドリーな案内を行っています。

②小学校の団体見学に対するサポートとして、見学及び学習の手引きとなる学年別ワークシートの改良と活用を行っています。

(3) 保守

常設展示にはコンピューター、DVDなどを複合的に組合せた映像展示や体験型展示、大型実物資料などがあるため、職員による日常的な保守および軽微な復旧作業のほか、専門業者による保守点検、清掃を実施

します。このほか、故障した展示物の修理、補修を行い、展示品の良好な維持管理を図ります。

また、展示情報の更新を適宜行い、生きた展示を目指します。

2 特別展示事業

横浜港及び海、港、船をテーマにした企画等、展覧会を開催します。

今年度の企画展は、10月にクルーズの魅力を紹介するもの、2月に生糸貿易をテーマにしたものを開催します。また、夏休みに(独)海洋研究開発機構(JAMSTEC)の協力を得た海洋をテーマとする展覧会、また12月には恒例となった市民からの写真募集による帆船日本丸の写真展を行います。

展覧会名	会期
横浜から海を学ぶ・海洋の神秘展(仮称)	7月16日～8月21日
企画展 憧れのクルーズ	10月8日～11月23日
帆船日本丸 第3回 公募写真展	12月17日～1月29日
横浜港と生糸貿易	2月11日～4月8日

3 教育普及事業

船や港、海に親しみ関心を深めるため、こどもから大人、ファミリーで楽しめる体験型プログラムを用意します。春は港の観察会やペーパークラフト教室、夏は小学生向けの船の工作教室、秋は大人向けの海図教室などを行います。

今年度は1年間活動する小学生向け事業である「みなとキッズ・クラブ」を新たに実施します。また、高校生以下入館無料の毎週土曜日にはこども向けクイズのほか、昨年度からスタートした教育活動ボランティア15名による船の折り紙教室を充実させ、さらに日曜日の家族向け事業にも取り組みます。

(1) みなとキッズ・クラブ ※新規事業

当館や日本丸、内水域、横浜港などを活用しながら、身近なところから海と船と港、くらしと環境などに親しみと関心を深める小学生向け新事業。ワークシートを使った博物館・日本丸・パーク探検、横浜港の見学と観察会、コンテナふ頭見学、日本丸甲板みがき・ロープワーク・シーカヤックなどを、年間を通して同じメンバーで6回ほど実施します。

(2) 大人のためのペーパークラフト教室

大人向けの帆船日本丸のペーパークラフトをつくる教室。初級者向けと上級者向けに分けて開催します。

(3) 海図教室

ワークショップを通じて海図について知り、親しみます。夏休みには親子、秋には大人向けを開催します。

(4) 船の工作教室

ゴールデン・ウィーク及び夏休みについては、小学生を対象に船に親しみ、船の形を理解するため、実際に動く船の模型を作ります。

(5) おはよう操船シミュレーション教室

展示室のシミュレーターを使って、船長経験者の指導で港内航行ルールを学びます。夏と冬に実施します。

(6) 親子の船の見学会

横浜港内に入港する航海訓練所の練習船や海上保安庁の巡視船、クルーズ客船などを見学し、その役割や働く人について学びます。

(7) 横浜から海を学ぶ・海洋の神秘展(仮称)ワークショップ

昨年好評だったワークショップを海洋研究開発機構の皆さんとともに夏休み中に開催します。

(8) 「横浜の帆船日本丸」 写真撮影教室

夏に、「横浜の帆船日本丸」募集写真展関連事業として写真撮影教室を開催、応募促進につなげます。

(9) キッズのためのクイズラリー

高校生以下入館無料の土曜日の事業。展示をよく見て答えるクイズラリーを実施します。

(10) 船の折り紙教室

高校生以下入館無料の土曜日の事業。教育活動ボランティアの説明による常設展示室で行う船の折り紙の教室を実施します。入館者促進のため昨年度から開始。

(11) サンデー・ペーパークラフト教室 ※新規事業

日曜日の来館者の半数を占めるファミリー層を対象にした新事業。

リピーター拡大策の一つ。教育活動ボランティアによる短時間でできるペーパークラフト教室を展示室で実施します。

4 調査・研究・収集・出版活動事業

(1) 資料調査・研究等事業

横浜港を中心とした資料の調査、研究、収集、整理、保存を行い、その成果を広く公開するとともに、展示や教育活動に反映させます。また、資料整理のデータベース化を進めます。

(2) 出版活動

博物館ニュースや企画展に合わせた図録等を出版します。

(3) 資料貸出し・レファレンス

資料の貸出しや閲覧、問合せ、照会等レファレンスサービスを行います。

5 ライブラリー事業

横浜港や船、海に関する図書・逐次刊行物等を収集・整理、公開し、小学生から専門家に学習、研究の場を提供します。データベース化した約2万冊の蔵書情報はライブラリー、ホームページで公開します。

(1) 公開日・公開時間

博物館の公開時間と同じ。

(2) 利用方法

博物館の入館者の利用は無料。ライブラリーのための利用は1人100円。コピーサービス(有料)のほか、レファレンスサービスを行います。

(3) 収集・整理

横浜港、港運、海運、船舶、航海等に関する図書、逐次刊行物等を収集、整理して配架します。また図書のデータベース化を進めるとともに、保守点検を行い、良好な状態を維持します。

6 その他

小中学生の体験学習の受け入れのほか、アウトリーチ活動として、周辺区の教育事業への出張講義など館外での活動を行います。

Ⅲ 緑地及び研修施設事業等

港湾緑地である日本丸メモリアルパーク内を公共施設としてふさわしい安全性を確保し、環境に配慮した維持管理を行うとともに、有効活用を図るため、次の事業を行います。

1 緑地の維持管理・活用

(1) 安全管理・美化

緑地等での安全管理、景観・保全、美化清掃を実施して、施設の環境の維持保全を図り、来園者が快適に過ごせる空間を提供します。

(2) 撮影

休館日にも緑地での日本丸の撮影などの使用を可能とすることなどにより利用促進を図ります。

(3) 催事

緑地等における各種催事の企画やイベント誘致で利用促進と賑わいを創出します。

2 研修施設（訓練センター）の管理運営

海と港と船に関連する団体等の利用促進を図るとともに、その他一般利用の促進も図るため、利用者にわかりやすいホームページ等の広報宣伝を積極的に進めてまいります。

3 シーカヤック体験教室事業

みなとみらい21地区の水際線に位置し港湾緑地である日本丸メモリアルパークの内水域及び自動車道側静水域においてシーカヤック体験教室を開催し、市民参加の海洋性レクリエーション・海洋スポーツの普及を通じて港内でのシーカヤックツアーなど、インナーハーバーの賑わいを創出していきます。

4 水質改善調査事業

今年度は、横浜港を美しく生命豊かな海へと再生するため、日本丸メモリアルパークの内水域を提供し、横浜市や消防局の協力を得て、海洋環境に取り組む団体等の調査研究の発表の場としていきます。

5 新港地区11-2暫定駐車場管理運営事業

新港地区への来街者のため、6月上旬まで、横浜市から賃借し時間貸駐車場を運営します。

IV 賑わい創出に向けた集客・プロモーション事業

新たな5年間の初年度として、これまで以上に集客が期待できるイベントを企画し、更なる来館者数増を目指します。特に、横浜市を中心とする神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県などの実績校には次年度も来館いただけるよう高いおもてなしの心でお迎えし、リピーター率の向上を目指します。平成23年度は、来館者数16万人の達成をめざします。また、来館者ニーズを踏まえた柔軟な開館時間の設定について試行を行います。

1 旅行会社への取組み

- (1) JTBの国内企画商品『エースJTB』のステイクーポンに加え、JR東日本やJR東海の旅行部門(会社)への営業を開始し個人観光客の集客チャンネルを拡大していきます。団体旅行(学生・一般)の取扱実績が多いJTB、近畿日本ツーリスト、日本旅行、トップツアー、富士急トラベル等の本社・支店へは、年2回、春・秋の旅行シーズン前に施設情報や集客増に特化した施策提案をしてきます。
- (2) 毎年一定の送客実績のある県下旅行会社、バス会社への情報発信を強化し県下地元小中学校、一般団体客のより一層の来館を促進します。
- (3) 昨年度、送客実績のある県外の旅行・バス会社へのダイレクトメール等による情報発信を強化し、引き続き施設への誘客を促進します。

2 学校等への利用促進の取組み

- (1) 横浜市内の全小学校(345校)、横浜市以外の神奈川県の全小学校(516校)合計861校へ社会科見学や校外学習検討資料をお送りします。さらに、リピーター校を中心に学校への直接訪問営業を実施し、継続新規または復活見学校の増加をめざします。
また、神奈川県や東京都の中学校の遠足等を誘致するための資料送付を行います。
- (2) 横浜市内9月から10月に開催される横浜市教育委員会で実施する「ふれあいコンサート」の際の昼食場所の提供を行い、施設見学を促進します。
- (3) 横浜市小学校の社会科研究会に協力いただきながら、ワークシートの更新や追加のバージョンの開発を行い来館促進の資料にします。
- (4) 春・秋冬の2回小学校の教職員向け下見会を開催し来館校を増やします。
- (5) パシフィコ横浜で卒業式や入学式を行っている大学や専門学校と連携して式典当日の集客を促進します。

3 横浜市・近隣施設への取組み

- (1) 西区・中区・神奈川区をはじめとする各区の市民活動支援センター利用団体等や子育て支援拠点への施設PR等を行い、施設の認知度向上および来館を促進します。
- (2) 閑散期等に西区・中区・神奈川区を中心に区民デーを設定し、各区民向けの割引等を行い、来館を促進します。
- (3) 近隣の幼稚園、保育園へのPRを行い、イベント参加、継続的な来館をめざします。
- (4) 近隣ホテルへ、企画展やイベント情報をタイムリーに発信し、宿泊客の来館を促進します。
- (5) 近隣の三菱みなとみらい技術館や日本郵船歴史博物館、横浜開港資料館、野毛山動物園などと連携し、クイズラリーを展開し相互に来館を促進します。

4 広報・宣伝活動

(1) ホームページ

来館者やイベント参加者増に向け、タイムリーでより魅力的な情報の提供に努めます。また、共同事業体の日頃の活動についてもホームページ上で掲載し、日頃の活動状況についてもPRし、アクセス件数250万件を目指します。

- (2) みなとみらいSP推進委員会と連携し、広報誌「ミレア」での施設イベント紹介、およびクリスマスイベント等の合同キャンペーンに参加し賑わいづくりに努めます。
- (3) 横浜市政記者クラブをはじめ、引き続き、新聞等マスコミへ計画的にイベントなどの情報を発信し、市民の方の来館を促進します。また、JTB旅行雑誌「るるぶ」や月刊「教育旅行」などパブリシティ効果の高い旅行雑誌、専門誌への掲載を行います。
- (4) 外国人観光客誘客のため、横浜観光コンベンションビューローとの広報連携や海外メディアの取材等に積極的に対応することによりアジアを中心とした海外での認知度を向上させます。

5 日本丸メモリアルパークでのイベントの開催

土・日・祝日を中心としたイベントを開催し、賑わいづくりを創出します。

- (1) ゴールデンウィークの時期に音楽ステージ等のイベントを開催し、市民の方や観光客が楽しめる参加型のイベント・出展ブースで、より多くの賑いづくりを創出します。

(2) 吹奏楽コンサート

横浜吹奏楽連盟および神奈川県職場・一般吹奏楽連盟の主催、後援で吹奏楽コンサートを年間14回（予定）開催します。

(3) フリーマーケット

市民交流の場、リサイクル活動の場として、リサイクル運動市民の会と共催で緑地を活用したフリーマーケットを年間15回（予定）開催します。

(4) サマーフェスティバル・イン帆船日本丸

8月中旬頃、子どもたちに人気のあるキャラクターのショー、音楽ライブなどで構成するイベントを開催します。

(5) ロックヤード・ライブ・エクストラ・アット・日本丸

ドックヤード2号デッキで開催されている音楽ライブを、アリーナでも定期的に開催し賑わいづくりに努めます。

(6) クリスマスナイト・イン帆船日本丸

クリスマスの時期に帆船日本丸、アリーナ内をイルミネーションなどで演出するとともに、船上でのライブ演奏会などを行い、心地よい夜間の空間を演出いたします。

(7) 帆船日本丸進水記念祭

1月27日の帆船日本丸の進水記念日に誕生日祝う進水記念祭を開催いたします。

6 「海と山と丘の公園交流事業」への取組み

日本丸メモリアルパーク（横浜市）、神奈川県立相模原公園（相模原市）、国営アルプスあづみの公園（長野県安曇野市・長野県大町市）の3公園において、それぞれの特色を生かして、「地域を越えた自然交流や子どもたちの体験交流」を柱とする「海と山と丘の公園交流事業」を行っていきます。

7 JTB との連携事業

(1) 子供体験教室

「海、船、港や自然環境の大切さを知る」をテーマにしたオリジナルの体験プログラムを開催します。

(2) シニア体験教室

海、船や港周辺の賑わい、気づきにつながるオリジナルの体験プログラムを開催します。

V 付帯施設等の運営

1 ミュージアムショップの運営

来館者の記念になるような帆船日本丸や帆船関係等の記念グッズの数を増やし、魅力ある品揃えをし、また来館者が見て楽しめるような店内レイアウト等も工夫し、売上の増加及び収益確保に努めていきます。

2 ミュージアムカフェの運営

カフェについては、日本丸メモリアルパークで行われるイベントとも連携し、気楽に立ち寄り、帆船日本丸を眺めながらゆっくり休憩できるカフェスタイルをJTBが運営いたします。

3 「日本丸友の会」の活動

帆船日本丸を通じて港や海に親しむ方たちの集まりである友の会は、会報『ヤード』発行や財団主催のイベントの協力など財団事業を広く支援する活動を実施しています。